

## 平成 29 年度第 2 回（通算第 30 回）POC 技術委員会議事録（案）

日時： 平成 29 年 9 月 21 日（木）13：00～14：00

場所： パシフィコ横浜（311+312 号室）

参加者： 〆谷、菊池、福田（篤）、櫛引、小林、東野、小島、岡田、山崎、  
後藤、竹澤、久保田、三好、太田、服部、佐藤、大戸、奥村（道）、中井、  
弘田、福田（滋）、水戸部、奥村（淳）、吉尾、薬師寺、樋渡、工藤、小花、  
大久保、奥田、岡、敬称略、順不同、

### 報告・協議事項

#### 1. 委員会名簿

新委員として木下敬一郎氏が推薦され、全会一致で承認された。

#### 2. POC セミナー予定

##### 1) 第 63 回 POC セミナー： 竹澤委員

テーマ： 「在宅医療で期待される POCT ～現状と課題を知り考える～」

日時： 平成 29 年 9 月 23 日（土）14:00～17:00

定員： 120 名→ 130 募集に増員

場所： 第 49 回日本臨床検査自動化学会開催時） パシフィコ横浜

報告： 実習企画を運営する上で、今回の会場、時間帯はランチョンセミナー直後であり、且つ、終了後の撤収時間制限がある。このプログラム設定は、実習を実施するセミナーとし不適である。

次年の神戸は、初日木曜日、午後からであることが報告された。また、次回以降は実習を含むセミナーに関しては準備時間を考慮し時間、会場を調整するようプログラム委員会にも申し入れを実施したとの報告が〆谷委員長より報告あり。

##### 2) 第 8 回 POC コーディネータ更新セミナー： 福田福委員長

テーマ： 「POCT 機器・試薬の現状と課題を探る」

日時： 平成 29 年 9 月 22 日（金）13：10～15：00

定員： 100 名

場所： 第 49 回日本臨床検査自動化学会開催時） パシフィコ横浜

報告： 技術委員会以外の人間が、委員会をどう考え、要望を発表いただく  
技術委員会メンバーに対し、本セミナーへの参加要請が福田副委員長よりあり

3) 第 64 回 POC セミナー :

山崎委員

テーマ : 「今求められる POC コーディネータの力で出来る品質向上」

～ISO や JCI の要求事項を満たすために～

日時 : 平成 29 年 11 月 19 日 (日) 9:00～11:00

定員 : 50 名

単位 : 総論 2 単位

場所 : 第 64 回日本臨床検査医学会学術集会シンポジウム共催企画

国立京都国際会館

内容 : 講演のみ実習無しのセミナーである。講演は審査側、病院側の異なる立場から全 3 講演を予定している。

3. POC コーディネータ

奥田委員

1) POC コーディネータ取得・更新状況

新規 7 名

更新 7 名

2) POC コーディネータリスト (Web 掲載情報) の更新が日本臨床検査自動化学会事務局では現状なされていない。本管理業務を自動化学会事務局より当委員会が引継ぎ、後藤委員が担当する事で全会合意。

3) リストの課題として以下の件が話し合われた、今後の課題として検討する事が承認された。

- リスト所属が古い情報のままであり、更新時、随時所属情報を更新できるよう仕組みを考える
- 登録、更新時にはメールアドレスを必要情報とし、メーリングリストへの登録を実施
- 移行措置を検討する
- 自動化学会は自動登録制度を準備しており、今後はそのシステムを活用できる可能性あり

4. ホームページ・メーリングリストについて

奥田委員

1) 日本臨床検査自動化学会ホームページ上、POC 技術員会ページの担当として、後藤委員、三好委員が選任された。

5. POC ガイドライン第 4 版

谷委員長/奥田委員

1) ガイドライン原稿は POC 技術委員会名簿を除きすべて提出されたため、田原さんに送付済である。

2) ガイドラインには委員名簿を掲載予定であり、委員は COI 開示が必要となる、学会は学術委員会用様式を作成する。尚、企業委員は“××××社 社員”と記載する事。尚、本 COI 原本は学会事務局で 2 年間保管する。

3) 今後、自動化学会誌への投稿に関しても、COI の開示が必要となる。

## 6. 今後のPOCセミナー担当委員について

奥田委員

- 1) 今後のPOCセミナーに関しては、担当役員を以下の通りとし承認された。
  - 生物試料分析科学会年次学術集会（平成30年2月山形）：奥田
  - スキルアップ研修会（平成30年5月静岡）実習あり：後藤・服部・山崎
  - 第50回自動化学会大会時（平成30年10月神戸）実習あり：櫛引・久保田・三好
  - 検査医学会65回大会時（平成30年11月東京）実習あり：竹澤・太田・奥田
  - POCコーディネータ更新セミナー：坂本・福田
- 2) 実習は3セミナーで実施する方針で進める
- 3) スキルアップセミナー共催に関しては、奥田事務局長が静岡県臨床検査技師会に確認

## 7. POCセミナー報告

福田福委員長

- 1) 第62回POCセミナー
  - テーマ：「救急・災害医療現場における検査技師の役割と課題」
  - 日時：平成29年6月16日（金）14：00～19：00
  - 場所：第66回日本医学検査学会・千葉県臨床検査技師会主催・  
スキルアップ研修会としての共催企画)
  - 受講者：125名（スタッフ含む）
  - 報告：好評にて終了

## 8. その他協議、報告事項

- 1) 第64回臨床検査医学会シンポジウム7を、総論2単位、「POCC更新セミナー」とする事で承認された。
- 2) 今後、POC技術委員会が共催、単位認定するものに関しては、参加が制限される会でない事、POC技術委員会が内容を検討、且つ委員が参加する必要がある事が確認された。
- 3) 業界3団体（JACRI、EBC、AMDD）は、厚生労働省へ在宅医療に関する加算の要請を始めた。具体的には、CRP、インフルエンザ、白血球、BNP（NT-proBNP）、電解質、血液ガス、血糖を現場で実施した場合の加算と、在宅検査検体管理加算を要求しているとの情報が、小林委員より共有された。
- 4) 次回委員会  
日時：平成30年4月6日（金）  
場所：奈良春日野国際フォーラム  
日本臨床検査自動化学会 第32回春季セミナー会開催時

以上、